

早わかり！単元計画の作成手順

～学級活動 議題 第5学年「がんばったね集会をしよう」を例にして～

1. 指導内容(指導事項)を確認する……「学習指導要領解説」を読みましょう！

◇内容・議題を定める

学級活動(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」
議題 第5学年「がんばったね集会をしよう」



学級活動の内容は3つありますね。

- (1)学級や学校における生活づくりへの参画
- (2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- (3)一人一人のキャリア形成と自己実現 です。

学級活動(1)は「議題」に基づいて学級全体の「合意形成」を、
学級活動(2)(3)は「題材」に基づいて一人一人の「意思決定」を
目指しましょう。

2. 単元の目標を設定する……単元でどんな力をつけるのか明確にしましょう！

◇学級活動(1)で育成を目指す資質・能力を確認する。

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

3. 内容の評価規準を設定する……評価のための判断のよりどころを決めよう！

◇内容のまとめりごとの評価規準を各学校で定めておく

学級活動(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」の評価の観点と規準の例

第5学年及び第6学年の評価規準

評価の観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合っ実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり、振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。



特別活動においては、特別活動の特質と学校の創意工夫を生かすということから、設置者ではなく、「各学校で評価の観点を定める」としています。

各学校で定めた「評価の観点」に基づいて、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成するとともに、全教職員で共有することが大切です。



4. 指導と評価の計画を作成する

特別活動自体は他教科のような単元計画というものではなく、年間を見据えた学校行事や学級活動と関連付けて、「事前・本時・事後」の一連の活動と評価計画をつくるのが望ましいですね。



第5学年〇組 学級活動(1)指導案

〇年〇月〇日(〇)第〇校時
指導者 教諭 〇〇 〇〇

- 1 議題「がんばったね集会をしよう」
学級活動(1) ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
- 2 議題について
(1)児童の実態(略) (2)議題選定の理由(略) (参考)「指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料(小学校特別活動)P44」
- 3 第5学年及び第6学年の評価規準(略) (国立教育政策研究所)
- 4 事前の活動

日時	学習活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿【観点】(評価方法)
〇月 〇日 帰りの会	・提案ポストの議題の中から計画委員会で選定した議題を決定する。	・計画委員会で選定した議題案をもとに、学級全員で決定する。	◎がんばったね集会への見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。【主体的態度】(学級会ノート)
(中略)			
〇月 〇日 昼休み	・学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理する。(計画委員会)	・学級全員が書いた学級会ノートに書かれた意見の中から話し合いの見通しがもてるように助言する。必要に応じて短冊に記入する。 ・学級会ノートに励ましの言葉等を記入し、話し合いの意欲を高める。	◎友達のがんばりを認め合うことができる集会の内容を学級会ノートに書いている。【思考・判断・表現】(観察・学級会ノート)

5 本時の展開

- (1)本時のねらい 1年間の互いのがんばりを認め合う楽しい「がんばったね集会」をするために、集会の内容を考えることができるようにする。
- (2)児童の活動計画(略)
- (3)指導計画

話し合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿【観点】(評価方法)
1はじめの言葉 2計画委員の自己紹介 3議題の確認 4提案理由 5決まっていることの確認	・めあてをもって自分の役割に臨めるようにする。 ・提案者の思いや願いを全員が理解し、学級全員の問題であることを確認する。 <話し合いのめあて> 「がんばったことを振り返ることができる集会の内容と工夫を考えよう。」	
6話し合い	・司会が進行に困った時は方向性を示唆し、児童の合意形成を方向付けるような助言はしない。 ・自治的活動の範囲を超えそうな場合は、適切に助言する。 ・必要に応じて納得した上で、自分の意見を変えるなど折り合いをつけて合意形成を図ることの大切さを助言する。	◎これまでの集会活動の経験を生かしたり、友だちの意見のよさを生かしたりして、がんばったね集会の内容や工夫について考え、友だちの意見と比べて聞いたりしている。【思考・判断・表現】(発言・観察)
7決まったことの発表 8話し合いの振り返り 9先生の話 10おわりの言葉	・よかった点や課題について自己評価し、友だちのよかった点などについて相互評価できるように助言する。 ・終末の助言では、前回の話し合いと比べてよかった点、合意形成したことへの価値付けや称賛、計画委員へのねぎらいなどを述べる。	

6 事後の活動

がんばったね集会を行い、一連の活動を振り返り、自己評価をさせる。

特別活動では、学級担任以外の教師も指導を行いますから、多面的・総合的に評価をするとともに、本時だけでな事前・本時・事後の一連の学習過程の中で評価できるようにしたり、一定期間に実施した学級活動や学校行事を評価規準に基づき、十分満足できる状況のときに指導要録に「〇」を付けましょう。

